※令和4年度以前入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　芸 術　　科

教科	芸術	科目	造形夏期講座	単位数	1　単位	年次	2　年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術に関する専門的な学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、美術や美術文化と創造的に関わる資質・能力を育成する。
現地実習および事前・事後学習を通して培った造形表現の能力を活用し、独自の表現として具現化する。
①課題に真摯に向き合う。
②自らの感性を磨き、創造的な思考力・判断力・表現力を高める。
③仲間を大切にし、互いの個性や多様な表現への理解を深める。

2　学習の到達目標

(1)現地実習および事前・事後学習を通して培った造形表現の能力を活用し、独自の表現として具現化する。
(2)描画材料の特性を理解し、表現方法を創意工夫する。
(3)互いの作品のよさや美しさを味わい、言語化して伝え合う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現地実習に必要な知識（現地の歴史的背景、地形的特徴、美術・文化遺産等）および技能（描画技法、スケッチスキル等）を身に付けている。 ・表現形式や描画材料の特性、技法を理解し、表現方法を創意工夫している。	・現地で感じ取ったことや考えたことを元に、造形感覚や感性を働かせて豊かに発想・構想している。 ・よさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、言葉で伝え合い共有している。	・意欲的に造形表現の基礎的知識・能力を身に付けようとしている。 ・現地実習および表現や鑑賞の創造活動に積極的に取り組んでいる。 ・作品・スケッチ・レポートを提出できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以前入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
1	事前学習	《講義と実習》 ・現地の歴史的背景、地形的特徴、美術・文化遺産等についての講義・調べ学習 ・描画様式・描画材料・スケッチスキルについての講義・実習	a: ・現地実習に必要な知識・技能（現地の歴史的背景、描画技法、スケッチスキルなど）を身に付けている。 b: ・授業・課題のねらいを理解している。 ・造形感覚や感性を働かせて豊かに発想・構想している。 ・表現の特質や効果、よさや美しさを感じ取り、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、言葉で伝え合い共有している。 c: ・意欲的に絵画表現の基礎的知識・能力を身に付けようとしている。 ・表現や鑑賞の創造活動に積極的に取り組んでいる。 ・スケッチ・レポートを提出できている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 鑑賞	振返シート 鑑賞
2	現地実習	《現地実習》 ・帰校後の作品制作をイメージし、様々な構図でスケッチを行う。 《美術館鑑賞》	a: ・現地実習に必要な知識・技能（現地の歴史的背景、描画技法、スケッチスキルなど）を身に付けている。 ・描画材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫している。 b: ・授業・課題のねらいを理解している。 ・造形感覚や感性を働かせて豊かに発想・構想している。 ・表現の特質や効果、よさや美しさを感じ取り、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、言葉で伝え合い共有している。 c: ・意欲的に絵画表現の基礎的知識・能力を身に付けようとしている。 ・表現や鑑賞の創造活動に積極的に取り組んでいる。 ・スケッチ・レポートを提出できている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 鑑賞	振返シート 鑑賞
3	事後学習	《作品制作》 ・現地でのスケッチを基に作品を制作し、校内展示・公募展応募を行う。	a: ・描画材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫している。 b: ・授業・課題のねらいを理解している。 ・造形感覚や感性を働かせて豊かに発想・構想している。 ・表現の特質や効果、よさや美しさを感じ取り、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、言葉で伝え合い共有している。 c: ・意欲的に絵画表現の基礎的知識・能力を身に付けようとしている。 ・表現や鑑賞の創造活動に積極的に取り組んでいる。 ・作品・スケッチ・レポートを提出できている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品 鑑賞	振返シート 鑑賞

※　表中の観点について　　a：知識・技能　　b：思考・判断・表現　　c：主体的に学習に取り組む態度